

ヨットのようになすすいすい



県内で初めて紹介されたブローカートに挑戦する参加者

ブローカート 春風受け疾走

ヨットに似たニュースポーツ「ブローカート」の体験試乗会が七日、青森市宮田の新県総合運動公園で開かれ、市民らが風を受けて走る、今までにない感覚を楽しんだ。

青森で体験試乗会

ブローカートは二〇〇〇年にニュージラランドで誕生。スチール製のカートに高さ約三メートルの帆を立てて走る。主に砂浜向きで、時速二十〜三十キロでも体感速度はその倍以上。風の強さによっては最高で時速百キロにも達するという。

沖縄県や千葉県などで盛んなニュースポーツで、国内・国際大会も開催。普及に努めている日本ブローカート協会のナオコ・バンノート会長らが青森市を訪れ、東北で初めて紹介した。

参加した約三十人は組み立て方の説明を受け、さっそく試乗。風を受け

るコツやハンドル操作を教わりながら、心地よさそうに走り回った。青森東中三年の佐藤晴香さん(二四)は「スピード感が楽しい。操作は難しくありません。また挑戦したい」と話していた。

「適しているはず」とPR
ば、雪上でも楽しめる。季節を選ばず、青森にもした。